

脳梗塞患者を対象とした Muse 細胞製品 (CL2020) の臨床試験の結果 に関するお知らせ

株式会社生命科学インスティテュート

株式会社生命科学インスティテュート（本社 東京都千代田区、社長 木曾誠一、以下「当社」）は、東北大学脳神経外科にて2018年9月から実施しておりました脳梗塞患者を対象とした Muse 細胞製品 (CL2020) の臨床試験の鍵結果を得ましたので、お知らせします。

本試験の主要評価項目である CL2020 投与後 12 週までの安全性について、治験を進める上で特に問題は認められませんでした。また、副次評価項目である有効性については、目標を達成しました。その他の詳細については解析中ですが、今後、学会または学術雑誌での公表を予定しています。なお、当社では、今回の期待通りの結果を踏まえ、規制当局とも相談しながら CL2020 の開発を一層推進していきます。

今後も、当社は Muse 細胞製品をはじめとして次世代に向けたヘルスケア事業を展開することで、世界中の人々の健康・医療に貢献し、人々が健康で安心な社会、“KAITEKI”の実現を目指します。

以上

【Muse 細胞】

2010年に東北大学の出澤真理教授のグループによって発見された Muse 細胞 (Multilineage-differentiating Stress Enduring cells) は、体内で様々な種類の細胞に分化することができ、腫瘍化のリスクが非常に低い新しいタイプの多能性幹細胞です。Muse 細胞は末梢血や骨髄、および各臓器の結合組織中に分布している内因性の修復幹細胞で、遺伝子の導入や事前に分化誘導したり、外科手術で細胞を移植したりする必要もなく、そのまま静脈内に投与するだけで損傷部位に集積し、そこに生着して組織を修復するという特徴を有しています。

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 経営企画部 広報担当： TEL 050-3188-2753
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室： TEL 03-6748-7140